

国立

大阪大学

問合せ先 医学部教務室学生支援係

☎565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

☎(06)6879-3343 <http://www.med.osaka-u.ac.jp/>**教育目標&特色**

昭和6年に大阪帝国大学医学部として創設されて以来、「創造性豊かな高度な倫理観に裏づけられた考える医師・医学研究者の養成」を基本理念に、広い視野と深い洞察力のある人材の養成を目指している。医学科には、経験豊かな臨床医、世界的な医学研究者も数多く活躍しており、基礎的な知識だけでなく、最先端の知識や技術を習得できる体制が整っている。また、先端の医療行為を実践できる病院も充実している。医学科では国立大学としては初めての「医の倫理学」という講座を設置。医師を育てる上で患者の心、医療の倫理について学ぶことは医学教育の最重要課題の一つである、と考える医学科の姿勢を的確に表わしている。大阪大学医学部から、「遺伝子医療」「再生医療」「ロボット医療」などの21世紀の医療を支えるスペシャリストが数多く誕生することが期待されている。

**カリキュラムの特色**

2015年度から国際的な評価に対応できるよう、新しいカリキュラムが開始された。1年次から2年次前期までは豊中キャンパスでの教養課程が中心となるが、同時に医学科のカリキュラムも開始される。1年次前期の医学序説では、世界的な研究者や臨床医から最先端の研究成果や臨床医学の進歩の講義を聴くことで、医学部に入学したことを実感できる。1年次後期から生命科学の基礎を学び、2年次前期では形態学、生理学、遺伝学などの基礎医学の講義や実習を履修する。2年次の秋からは吹田キャンパスに移り、本格的に医学科の講義や実習、ネイティブスピーカーによる医学英語が開始される。また、1年次・2年次では早期臨床体験実習を導入し、附属病院で臨床の現場を体験することで、将来医師となるための心構えを身につける。

3年次の基礎医学講座配属も大阪大学が全国に先駆けて導入したシステムで、4か月間希望する基礎医学研究室に所属し、研究に専念する。3年次の後期から臨床医学の講義が開始される。国際的な視野を身につけることも大阪大学の教育目標の一つであり、海外での臨床実習を積極的に推進、サポートしている。2016年度は約40人の5年次生が海外留学に参加している。4年次から臨床医学の講義が開始され、5年次と6年次の2年間は臨床実習に専念する。附属病院と大阪・兵庫の基幹病院を実習の場とし、実際に患者に接することで、臨床医として必要な態度、知識、技術を修得する。また、5年次後半の2か月間は臨床研究も可能な研究期間が設けられている。このように、学生それぞれの志向に応じたさまざまなカリキュラムを提供している。最終的に研究職に就くにしても、臨床医を目指すにしても、医学科が重視しているのはリサーチマインド(研究する心)である。大阪大学医学部には、基礎医学はもとより、最先端の臨床医学、高度先進医療を修得できる体制が整っている。

**大学DATA**

- ◆沿革 天保9年創設の適塾が源。昭和6年に大阪帝国大学医学部を設置し、昭和24年に大阪大学医学部となった。
- ◆学部所在地 \*吹田キャンパス(専門教育)=問合せ先と同じ。アクセス大阪モノレールで阪大病院前下車、徒歩約5分。千里中央駅・阪急茨城市駅・JR茨木駅から阪大本部前行バスで阪大医学部前下車、徒歩約5分。  
\*豊中キャンパス(教養教育)=☎560-0043 大阪府豊中市待兼山1-16 アクセス阪急電車宝塚線石橋前下車、徒歩約15分。大阪モノレール柴原駅下車、徒歩約15分。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科110名(うち2年次編入学定員10名)
- ◆大学院 医学系研究科=医学専攻172名
- ◆おもな付属施設 附属病院、微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、国際医工学情報センター、未来医療イメージングセンターなど。
- ◆学寮 刀根山寮・定員82名(男子)、清明寮・定員76名(男子)、新稲寮・定員40名(女子)、向陽寮・定員104名(男子)、もみじ寮・定員153名(女子)。いずれも他学部と共用。

**参考資料****●医師国家試験合格率**

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	118	117	110	94.0%	109	109	106	97.2%	9	8	4	50.0%
2016	128	124	117	94.4%	117	117	113	96.6%	11	7	4	57.1%
2015	110	110	100	90.9%	98	98	95	95.9%	12	12	5	41.7%

**●学校納付金(2018年度)**

区 分	入学手続時	初年度総額	2年次以降
入学金	282,000 円	282,000 円	-
授業料	267,900 円	535,800 円	535,800 円
合 計	549,900 円	817,800 円	535,800 円
6年間総計	3,496,800 円		

\*ほかに諸会費が必要になる。

**●奨学金制度**

日本学生支援機構奨学金のほかに、地方公共団体や民間奨学団体の奨学金制度がある。

# 2018 年度入試要項

## 募集人員

区分	一般前期	一般後期	世界適塾	A O	編入学
医学科	100	-	若干	-	10

## 試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般入試	前期日程	1月22日～1月31日	2月25日・26日	3月9日	3月15日
	後期日程	募集しない			
世界適塾	1次選考	11月1日～11月7日	書類選考	2月2日	
	2次選考		2月4日・5日	2月7日	2月13日

## 一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国語	国。	100	80
	地歴・公民	世B、日B、地理B、倫政経→1。	100	60
	数学	数Ⅰ・数Aと、数Ⅱ・数B、簿、情報→1の計2。	100	各60
	理科	物、化、生→2。	100	各60
	外国語	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓→1。	100	80
個別試験	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	200	150
	理科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	150
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	200	90
	面接	個人面接。	-	10

\*面接は人間性・創造性の豊かな医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等を評価する。

## 世界適塾入試(推薦入試)

①**推薦条件**＝科学に強い関心と学習意欲を持ち、自ら課題を設定し創造的に挑戦できる行動力を有し、豊かな人間性を持つ人、将来グローバルに活躍する強い希望を持ち、医学研究者を志向する人で、人物及び学業ともに優れた全体の評定平均値が4.3以上の現役・1浪。1高校から2名以内。②**選考方法**＝書類審査・センター試験(5教科7科目)の成績による1次選考の合格者(センター試験の成績が900点満点中概ね80%以上で成績上位20名まで)に小論文と面接を課す。<センター試験> ◇国語＝国。◇地歴・公民＝世B、日B、地理B、倫政経から1科目選択。◇数学＝数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2科目。◇理科＝物、化、生から2科目選択。◇外国語＝英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目選択。小論文は文章(英文を含む)読解論述型、資料分析型、テーマ型、理科論述型などを客観的評価ができるように組み合わせ出題する。面接は提出した書類(特に自己PR資料、志望理由書)に基づき個人面接を2回行う。面接の結果によって医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は不合格とする。

**2年次編入学** 大学を卒業した者(見込みを含む)または大学に2年以上在学し所定の単位を取得した者。学力検査(英語・論文読解・生命科学・数学・物理学・化学)の合格者に2次試験として小論文・面接を課す。

\***合否判定** 一般入試はセンター試験・個別試験の総合点で判定する。面接の内容も加味して判定を行い、面接の結果によって、医師になる適性に欠けると判断されれば不合格とする。

\***二段階選抜** 一般入試はセンター試験の成績が900点満点中720点以上の者を約2.6倍で実施する。

\***試験場** 一般・推薦＝本学吹田キャンパス(大阪モノレールで阪大病院前下車、徒歩約5分)。

\***受験料** 一般17,000円、推薦17,000円

**入試のポイント**

一般入試のセンター試験は 5 教科 7 科目、個別試験は数学・理科・外国語の 3 教科＋面接。配点ウエートはやや個別重視だから、個別試験対策に重点をおいた対策を考えたい。数学・理科・外国語の 3 教科とも相当高度な問題が多い。今春の出題をみると、数学は(1)いろいろな曲線、(2)確率、複素数、(3)有理数と無理数、(4)図形と方程式、積分法(面積)、(5)積分法の応用の 5 題。英語は(1)英文和訳、(2)読解問題、(3)英作文、(4)和文英訳の 4 題。数学、理科、英語の 3 教科とも基礎事項を完全に理解したうえで応用力をつけるとともに、過去問を研究しておくといいだろう。面接は個人面接で、面接の結果によって適性に欠けると判断されれば不合格にされる。

# 2017 年度入試DATA

## ●入学者選抜実施状況

\* 2段階選抜は第1段階不合格者数を示す。

区分	募集人員	志願者	2段階選抜	受験者	当初合格	追加合格	合格者	競争率	入学辞退	入学者
前期日程	100	200	0	189	100	0	100	1.9	1	99
世界適塾	若干	4	0	4	1	0	1	4.0	0	1

## 【合格者の成績】

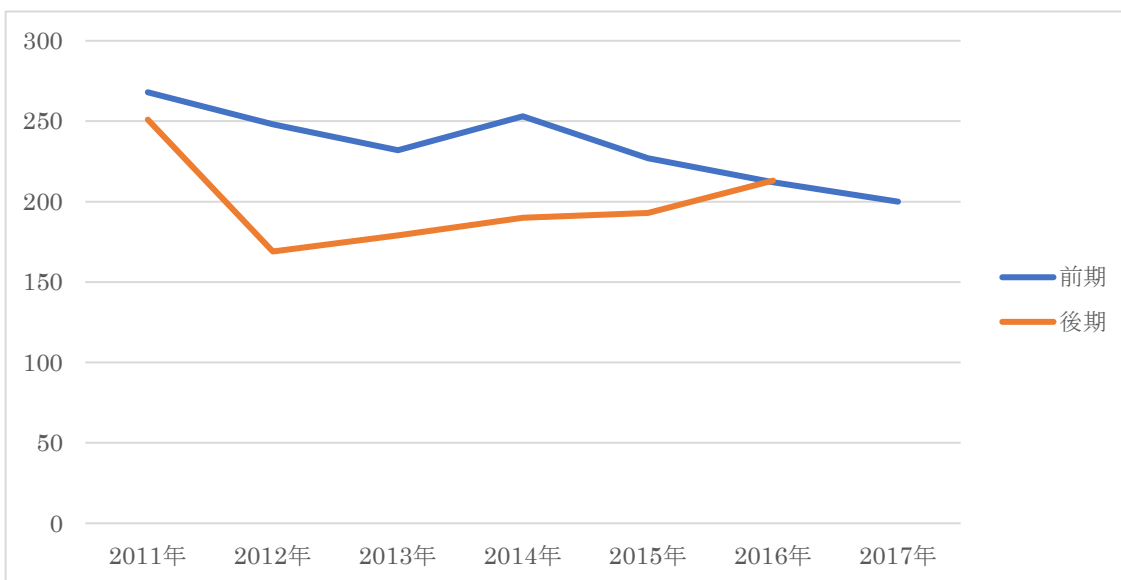
カッコ内は2016年度。

区分	配点	最高点	最低点	平均点	
前期	セ試	500(500)	490.20(493.40)	422.55(436.75)	457.32(463.18)
	個別	600(600)	489.00(548.00)	368.00(374.00)	416.46(424.88)
	総合	1100(1100)	945.00(1023.50)	835.30(844.55)	873.78(888.07)

\* 入学者の現浪別内訳 現役 50 人、浪人 49 人、その他 1 人。

\* 入学者の男女別内訳 男子 78 人、女子 22 人。

## 【志願者数の推移】



## ●小論文の内容

一般入試は課さない。世界適塾入試は文章(英文を含む)読解論述型、資料分析型、テーマ型、理科論述型などを客観的評価ができるように組み合わせて出題。今春は、[1]ヒトの感覚器に関する英文が提示され、「中耳において振動を変換する仕組みが、外耳と内耳での特性の違いとどのように関係しているのか、150字以内で考えを述べよ」など4問に論述。[2]体内に侵入した微生物に関する英文が提示され、5問に論述。[3]動物の発生に関する英文が提示され、「発生の仕組みを明らかにする2種類の実験方法の特徴と、それぞれの実験方法に適した動物の特徴を説明せよ」など4問に論述。[4]保健医療 2035 提言書の抜粋が提示され、5問に論述させた。

## ●面接の内容

一般入試は個人面接で、3人の面接官が人間性・創造性の豊かな医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等を評価。世界適塾入試は提出した書類(特に自己PR資料、志望理由書)に基づき個人面接を2回行う。いずれも面接の結果によって医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は不合格とされる。